

**守口市青少年海外派遣事業報告（7月29日～8月9日）
市内中学生・高校生12人がマインブルク市へ！**

青少年海外派遣団として、団員12人が姉妹都市のドイツ連邦共和国バイエルン州マインブルク市へ派遣されました。団員は、国際文化に触れ一回り成長して帰国しました。



今後の団員の活躍を期待してまいります。

初めてホストファミリーと対面するとき、ホストマザーが「ようこそわかこ」と書かれた紙を持って迎えてくれました。自分が本当に歓迎されていると感じ、とてもうれしかったです。家にも「ようこそわかこ」と慣れない習字で書かれており、お兄さんは「日本」と書かれたTシャツを着ていました。優しく温かく、そして面白い家族でした。別れるのは辛かったです。

渡邊公輝さん
茗溪学園中学校3年

今回の海外派遣は、僕にはとても貴重な体験となりました。日本とドイツでは街並みも全く違い、特にマインブルクの街は映画に出てきそうな、とてもきれいな街でした。そして、僕がドイツで特に良い所だと思ったことは、古いものを大事にしていることです。ホームステイをした家では、20年以上前の車を今も大事に乗っています。古いものを大切にしている心は、僕も見習いたいと思います。

三宅優奈さん
茗溪学園中学校3年

私が今回、参加した理由は母の勧めと私が派遣に興味があったからです。派遣が決まった時は本当にうれ

藤森里枝さん
土浦第一高等学校1年

しかったです！初めてのホームステイで緊張しましたが、優しいホストファミリーのおかげで充実した日々を過ごし、貴重な体験ができました。マインブルクは守谷より緑が多く、静かで和やかなとてもきれいな街でした。ホストファミリーに会いにまたマインブルクに行きたいと思います。

梅原佳吾さん
並木中等教育学校5年

今回一番印象的なのがホームステイでした。言語も文化も異なる人たちといきなり家族として暮らすことは不安でしたが、とても刺激的な経験でした。その経験から一番感じたのは、人の優しさ・温かさです。まだまだ英語に不安を感じる私ですが、言葉の壁を越えて通じるものがありました。このような機会を与えてくれた皆さんに心からお礼を言いたいです。

八反田風子さん
藤代高等学校2年

今回この派遣に参加することができて本当に良かったです。フランス、ドイツの建築物は日本では感じる

小島かえでさん
江戸川学園取手中学校2年

私は変わった。ホームステイを通じて。家族と離れて、他の家庭の一員として生活すると自分の「弱さ」が良く分かる。私は自分勝手に、わがままで、人の事を考えないと改めて感じた。それから自分の「弱さ」を直そうと心がけている。帰国して家族に言われた「変わったね」という一言。私は机の上では学べない事をたくさん学んで帰ってきた。

中村久留美さん
千葉県立柏南高等学校2年

私たちは本当に素敵な体験をしたと思う。パリとミュンヘンでは日本では感じられないような雰囲気に触れ、日本の良さも知ることができた。特に印象深いのはホームステイだ。ホームステイ先はとてもリッチで家族はとても優しくあった。すごく穏やかな日々を過ごした。この家族との繋がりを大事にしていきたい。次に会うまで英語とドイツ語を話せるように頑張りたい。

たです。フランス、ドイツの建築物は日本では感じることにできない独特な雰囲気があり壮大でした。初めは不安だったホームステイもホストファミリーとすぐに打ち解けて毎日がとても楽しかったです。機会があればホストファミリーに会いにドイツに行きたいです。今回の派遣を通して今までにない素晴らしい経験をすることができました。皆さんの人に感謝したいです。

この事業は私にとって、とても有意義なものだった。パリの街並みやドイツの文化、さまざまなものを見ることで世界観を広げ、考え方を深めることができました。また、ホームステイを通して、言語の壁が痛切に感じられたが、それがあってもお互いに分かり合えるのだと思った。そして、自分に関わった多くの人々への感謝の気持ちを忘れずに、いつか、次の世代にこの経験を与えられるような人間になりたいと思った。